

## ふじみ野市・文京学院大学協働事業

### 「まちづくり・まちおこし大学」開講

ふじみ野市・文京学院大学協働事業「まちづくり・まちおこし大学」が10月15日に開講し、併せて第1回の講義も行われました。

5回の講座のうち、3回以上の出席者には、修了証が授与されます。

開講式では、高畑博ふじみ野市長と下仲順子人間学部学部長が挨拶し、高畑市長は第1部の講義も担当。「ふじみ野市における支援状況」について、被災者・避難者に対する具体的な対応について話しました。

続いて笹岡眞弓教授（人間学部人間福祉学科）が、被災地を取り組んでいる災害ソーシャルワークについて報告しました。

第1部の終わりには、高橋さんを見守りました。環境教育研究センターに所属する学生たちが製作したVTTRも流れ、そのひたむきな姿について目を潤ませる受講者もいました。

第2部は、「ふじみ野市・市民・文京学院大学の連携による支援状況」をテーマに、地域活動団体が「被災者支援」について、さらに本学地域連携センター・BI CSセンター長の綿祐二教授らが「避難者支援」について報告しました。白木秀明さん（共生社会学科4年）は、両支援について、ふじみ野近辺だけではなく被災地にも1024個のランドセルを届けた「ランドセル大作戦」を例に挙げて報告しました。

「わたしたちができる支援とは」被災者支援・避難者支援」がテーマ。12月3日までの全

「わたしたちができる支援とは」被災者支援・避難者支援」がテーマ。12月3日までの全

「わたしたちができる支援とは」被災者支援・避難者支援」がテーマ。12月3日までの全



高畑市長が熱く語る

橋孟子さん（共生社会学科4年）が、風評被害対策として福島県郡山市の農家の困惑と、野菜代行販売の取組みについて伝えました。当日は「あやめ祭」会場でも野菜販売を行い、あつという間に売

心な耳を傾けました。